

地 域 振 興 局

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【南部振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>46,324 (29,556)</p> <p>— 46,324</p>	<p>1 こなんベンチャーシティ推進事業 9,700</p> <p>湖南地域の産業を取り巻く強みを活かして、新規創業や第二創業の創出が活発に行われる地域をめざし、「ビジネスフォーラム」を開催するとともに、「ビジネスカフェ」の開設を支援する。また、学生の創業意欲の喚起や、ベンチャー企業等への就業意欲の向上を図るための取り組みを行う。</p> <p>新 2 天平の都・紫香楽宮をたどる歴史ロマンの旅創造事業 3,000</p> <p>紫香楽宮跡の宮殿であることが判明した甲賀市信楽町の宮町遺跡をはじめとした地域の貴重な歴史遺産・史跡等の資源を生かし地域活性化を図るため、地域住民等と協働して考えた「モデルツアー」を実施することによって、歴史・文化探訪型の新たな観光を創造する。</p> <p>3 こなん体験ミュージアムの整備事業 4,410</p> <p>湖南地域の環境資源を再発見し、次世代に引き継ぐための学習、環境意識の高揚を目的とし、ワークショップ形式により策定した「里地と森林を巡るルート」「街と川を巡るルート」「琵琶湖と水を巡るルート」の3ルートを案内する表示板を整備し、案内用マップ・ルート手引書を作成するとともに、水文化の再発見として、環境学習会を開催する。</p> <p>新 4 南部地域交通渋滞緩和ソフト対策検討事業 9,360</p> <p>県内でも交通渋滞による経済損失の著しい南部地域(湖南・甲賀)において、従来からの幹線道路網整備(ハード対策)に加えて、交通信号制御の最適化等渋滞緩和ソフト対策の検討を行う。</p> <p>新 5 甲賀地域障害者自立支援ふれあいねっとモデル事業 3,355</p> <p>IT技術の導入により障害者の自立について、多面的な支援を行い、地域の一層の福祉力向上を図ることを目的に、地域における障害者や家族等を対象とした障害者福祉情報を提供するホームページの制作および障害者福祉相談機関等を結ぶ情報ネットワークの整備を図る。</p> <p>新 6 まるごとシカ活用事業 3,150</p> <p>特定鳥獣保護管理計画(ニホンジカ)の捕獲目標達成のため、狩猟者による捕獲意欲を高め、捕獲後のシカの金銭的付加価値を高める手法を検討するとともに、捕獲されたニホンジカの商品価値化手法の検討および地域名産品としての流通販売経路の開拓を試みる。</p> <p>新 7 甲南インターを中心とした地域活性化の検討事業 4,000</p> <p>甲南インターの設置に伴い、甲賀・伊賀地域が連携し、広域的に地域ポテンシャルを高めるとともに、地域活性化を図るため、両地域の発展と将来像をトークする「しのびフォーラム」や住民・NPO等によるワークショップ「ワイワイしのび会議」の開催等を行い、当地域の活性化に向けた多様な道路の役割とネットワークの検討を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【東近江地域振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>17,977 (24,119)</p> <p>- 17,977</p>	<p>1 西の湖美術館構想推進事業 350</p> <p>西の湖とその周辺のすばらしい景観や自然環境を保全するため、地域住民主体で平成17年度に策定された「西の湖美術館構想」に基づき展開される事業や取り組みを地元市町とともに支援する。</p> <p>新 2 ふるさとの恵み給食推進事業 2,600</p> <p>学校給食への地場産野菜の生産・供給体制を整備して、環境こだわり農産物の地産地消を推進するとともに、学校における食育活動を農業面から支援して、子どもたちに健全な食生活習慣を根付かせる。こうした取り組みを通じて、野菜をはじめとする環境こだわり農産物の生産拡大を図る。</p> <p>新 3 獣害のない元気な里づくり推進事業 7,964</p> <p>近年、中山間地域の田畑では、イノシシ・サル・シカ等の野生獣による農作物被害が顕著になり大きな社会問題となっていることから、人と野生獣の棲み分け共存をさぐるモデル事業を実施するとともに、捕殺された野生獣肉の利活用を推進するなど総合的な対策を進める。</p> <p>新 4 里川景観保全モデル事業 2,000</p> <p>東近江圏域に特徴的な田園地帯を流れる里川の風景を保全するため、ヨシ・マコモ等の地下茎の排除や堆積土砂の掘削等建設機械を必要とする作業について、地元市町に委託することにより、地域の自主的共同作業「川ざらえ」の実施を支援する。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【湖東地域振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>14,586 (14,360)</p> <p>- 14,586</p>	<p>新 1 河川・道路管理におけるゼロエミッション計画 4,698 「竹等のチップ化」実験事業</p> <p>河川敷や堤防に植生する竹木等を伐採の上、チップ化し、これを道路植樹帯や法面、河川堤防などにマルチングし、防草対策として利用するゼロエミッション計画の構築に向けて、実証実験を実施する。同時に、NPOやボランティア等とも連携しながら、竹木等の伐採計画について協働した仕組みづくりを検討する。</p> <p>2 宇曽川水系農業濁水対策事業 2,986</p> <p>農業者等と連携しながら、これまで取り組んできた、田植時に落水しない取り組みやレーザーレベラーによるほ場の均平化、また用水を反復して利用する取り組みなど、濁水を防ぐために効果の高い体系的な営農技術の実践を宇曽川の中流域まで拡大して実施する。</p> <p>さらに、集落を単位とした集団的な水利用計画についても検討し実践する。</p> <p>新 3 自転車タクシー運行モデル事業 2,000</p> <p>近年、新たな交通手段として、自転車タクシーが注目されてきている。この自転車タクシーは、環境にやさしく、障害者や高齢者などが身近な交通手段として利用できると同時に、バスやマイカーでは味わうことができなかった観光体験も可能で、新たな観光資源として期待されている。</p> <p>このことから、彦根城築城400年祭と連携しながら、NPOや彦根市とも協働して取り組み、平成20年度の本格運行を図る。</p> <p>4 新エネルギー木質バイオマス利活用推進事業 2,922</p> <p>湖東地域での森林資源の整備から生じる間伐材などの木質バイオマス資源を、再生可能な新たなエネルギーとして有効に利用するため、家庭で使用可能なペレットストーブの開発に産官学連携して取り組む。</p> <p>また、木質バイオマスエネルギーの普及啓発に引き続き取り組むとともに、間伐材等の資源の供給体制についても検討を行う。</p>

事業名	当初予算見積額 (前年度予算額)	説明
<p>【湖北地域振興局】</p> <p>地域振興事業費</p>	<p>27,075 (17,398)</p> <p>－ 27,075</p>	<p>1 琵琶湖環状線を生かしたまちづくり推進事業 14,215</p> <p>待望の琵琶湖環状線が平成18年秋に開業することから、北陸本線・湖西線直流化開業記念事業を実施するとともに、琵琶湖環状線実現記念列車の運行支援など、地元の利用促進と鉄道を利用した観光誘客に引き続き取り組む。</p> <p>(1) (仮称)北陸本線・湖西線直流化開業記念事業 (2) (仮称)鉄道で訪れる北近江の旅・企画支援事業 (3) 琵琶湖環状線実現記念列車の運行支援事業 (4) 東海・北近江直通列車の運行支援事業 (5) 琵琶湖環状線実現・県外向けPR事業 (6) 直流化開業に伴う鉄道利用状況の変化に関する調査等事業 (7) まちづくり推進会議の開催 (8) まちづくり推進ニュースの発行</p> <p>新2 生活習慣病の予防と食文化の創造事業 4,000</p> <p>湖北圏域では、塩分の摂取量が多く運動不足の傾向があり、生活習慣病にかかわる栄養と運動について効果的な指導を行うため湖北型の予防プログラムを開発して予防教育に活用する。また、湖北の伝統食を活かした生活習慣病予防に繋がる料理を創作し、効果的な新しい食文化を創造する。</p> <p>(1) 湖北型生活習慣病予防プログラムの開発 (2) プログラム実践のための指導者研修 (3) 生活習慣病予防の食文化の創造</p> <p>新3 姉川・高時川の高水敷保全事業 1,000</p> <p>河川の高水敷に自生する立木群は洪水時に支障となる。しかしながら、その伐採や伐採後の管理にあたっては地域との協働が不可欠であるとともに、河畔林としての環境も考慮する必要がある。このため、学識経験者や地域住民による協議会を設置し、立木群の伐採方法や範囲、さらには管理手法等について具体的な方策を策定する。</p> <p>(1) 協議会参加メンバーの決定 (2) 公図・官民境界確定資料等による現地調査の実施 (3) 課題の抽出・整理</p>